

町のうごき	
本籍数	4,988
本籍人口	15,534
世帯数	3,921 (3,909)
住民登録人	14,763 (14,698)
内 {男}	7,161
女	7,602

11月1日現在
() 内は10月1日現在

広報 てくのう

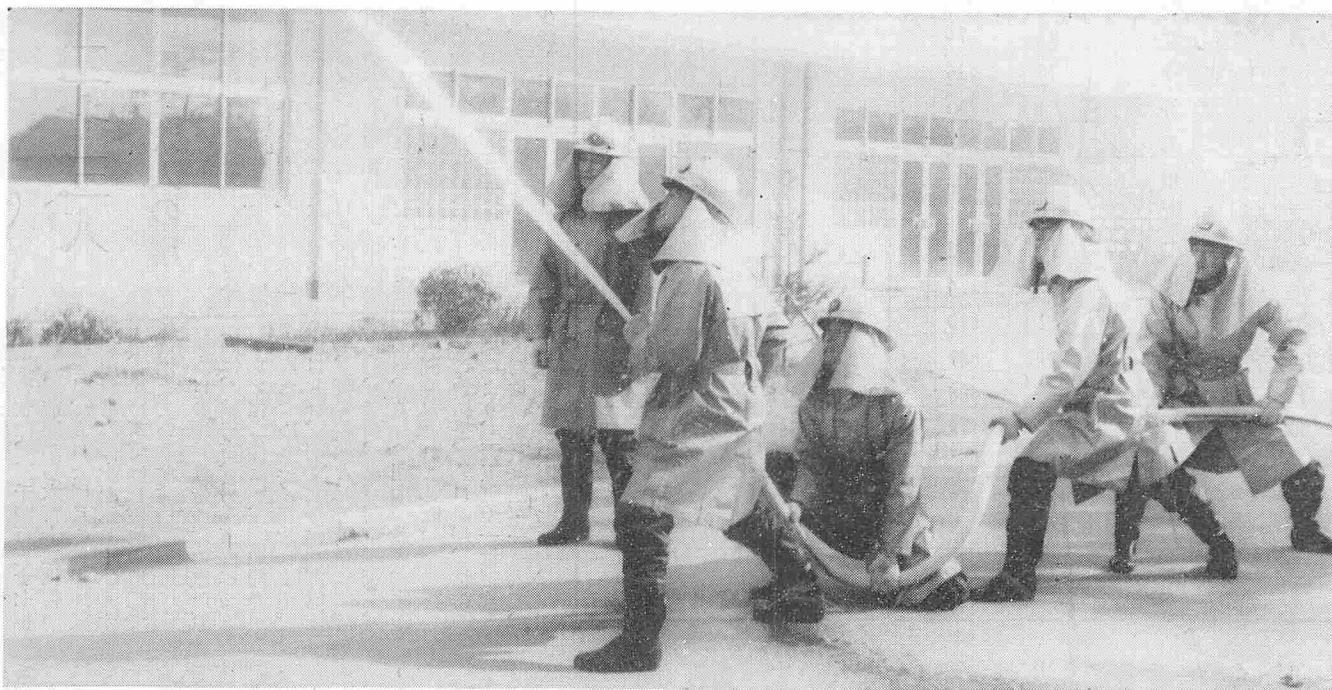
No. 152

昭和50年

12月1日発行

発行・秋田県天王町役場 (018878) 2211~4
編集・企画室 印刷・一日市印刷 (018875) 2038

▶「もし、火災が発生したら」と懸命に防火訓練に励む消防団員
(天王小に消防で)



二本町で消防の総合訓練



今回、五十年度一般会計に補正された額は、二十六万二千円で総額は十億五千五百五十七万四千円となつた。この内訳は、塩口北野公営住宅の電気外線工事に関する負担金八万四千円と消防訓練に関する費用十四万三千円が主なもの。また、十一月四日で固定資産評価審査委員会の佐々木吉太郎氏と船木助太郎氏が任期満

臨時町議会が十一月一日に開かれた。まず、五十年度の一般会計補正予算案と固定資産評価審査委員会の委員選任案を原案どおり可決、四十九年度の一般会計歳入歳出決算と三つの特別会計の決算を認定し、十一月十日に閉会した。

設立案を可決

十一月十一日にも臨時町議会が開かれ、本町と男鹿市、若美町で設立する男鹿地区衛生処理一部事務組合の設立案を原案どおり可決、同日閉会した。

これは、屎尿を広域的に処理するためのもので、当時は組合議員四名も選出した。組合議員は次のとおり

京谷仁太郎氏、菅生春司氏、鎌田堅治郎氏、藤原直一郎氏

固定資産評価委員会

三浦、菊地の両氏 一日に臨時議会

大きな成果をあげる

男鹿地区消防署管内の消防機動力を動員し、本町の役場、天王中学校、天王小学校、天王幼稚園、町公民館で避難訓練、水利部署の誘導訓練、医療機関への搬送訓練などの総合消防訓練を11月13日に行つた。

異常気象状況の中で、午前10時に役場調理室から出火、避難中女子職員2名が負傷し、さらに強風のため飛火により中学校公民館、幼稚園、小学校が延焼することを想定。

この訓練には、消防団員120名が参加、消防車は本町の他男鹿市、若美町、大潟村の積載車や小型動力ポンプなどを含めて全部で11台、救急車1台が出動した。

訓練終了後、消防車11台を連ねて防火思想普及の町内パレードと、天王中グランドで閉会式を行い大きな成果をあげて全行程を終了した。

国勢調査概数まとまる

人口は一四、一二七三人

45年より一、四三六人の増

十月一日実施されました昭和五十年国勢調査の概要がまとまりました。なおこれは後日総理府統計局で公表する数字と異なる場合があります。

昭和五十年国勢調査による本町の人口および世帯数は、別表のとおりですが、人口は一万四千二百七十三人、うち男が六千七百九十四人、女は七千四百七十九人です。これを前回(昭和

四十五年)国勢調査に比べますと、総数で千四百三十六人、男は七百十五人、女は七百二十一人、それぞれの増となります。

伸び率をみると、昭和四十年

国勢調査から昭和四十五年国勢

調査の人口の伸び率七・七%に

対し、今回の伸び率は十一・二

%と伸び率も増加しています。

人口の増減を部落別にみると、湖岸地区はわずかながら減

少状態にあります。いざん追分、出

塩口北野、羽立北野は、町営住

宅、町分譲地として新たに集落

化し、二田、出戸新町、天王、蒲沼、追分は団地の造成、宅地

の開発がされました。

この結果、人口の増、世帯の

増により、天王町の一世帯当たり

平均世帯人員は四・一三人で、

昭和四十年の四・七七八人、昭和

四十五年の四・五一人に比べ減

少しており、核家族化の傾向を

ますます強くしています。

また全県的にみると、県人口

は百二十三万二千四百九十三人

で、前回国勢調査と比べると八

千八百八十三人(〇・七%)の減

少を示しています。増加してい

る市町村は、秋田市(十・八%)

タウン化に伴ない、宅地開発が

進んだためと考えられます。

塩口北野、羽立北野は、町営住

宅、町分譲地として新たに集落

化し、二田、出戸新町、天王、蒲沼、追分は団地の造成、宅地

の開発がされました。

この結果、人口の増、世帯の

増により、天王町の一世帯当たり

平均世帯人員は四・一三人で、

昭和四十年の四・七七八人、昭和

四十五年の四・五一人に比べ減

少を示しています。増加してい

る市町村は、秋田市(十・八%)

タウン化に伴ない、宅地開発が

進んだためと考えられます。

塩口北野、羽立北野は、町営住

宅、町分譲地として新たに集落

化し、二田、出戸新町、天王、蒲沼、追分は団地の造成、宅地

の開発がされました。

この結果、人口の増、世帯の

増により、天王町の一世帯当たり

平均世帯人員は四・一三人で、

昭和四十年の四・七七八人、昭和

四十五年の四・五一人に比べ減

少を示しています。増加してい

る市町村は、秋田市(十・八%)

タウン化に伴ない、宅地開発が

進んだためと考えられます。

塩口北野、羽立北野は、町営住

宅、町分譲地として新たに集落

化し、二田、出戸新町、天王、蒲沼、追分は団地の造成、宅地

の開発がされました。

この結果、人口の増、世帯の

増により、天王町の一世帯当たり

平均世帯人員は四・一三人で、

昭和四十年の四・七七八人、昭和

四十五年の四・五一人に比べ減

少を示しています。増加してい

る市町村は、秋田市(十・八%)

タウン化に伴ない、宅地開発が

進んだためと考えられます。

塩口北野、羽立北野は、町営住

宅、町分譲地として新たに集落

化し、二田、出戸新町、天王、蒲沼、追分は団地の造成、宅地

の開発がされました。

この結果、人口の増、世帯の

増により、天王町の一世帯当たり

平均世帯人員は四・一三人で、

昭和四十年の四・七七八人、昭和

四十五年の四・五一人に比べ減

少を示しています。増加してい

る市町村は、秋田市(十・八%)

タウン化に伴ない、宅地開発が

進んだためと考えられます。

塩口北野、羽立北野は、町営住

宅、町分譲地として新たに集落

化し、二田、出戸新町、天王、蒲沼、追分は団地の造成、宅地

の開発がされました。

この結果、人口の増、世帯の

増により、天王町の一世帯当たり

平均世帯人員は四・一三人で、

昭和四十年の四・七七八人、昭和

四十五年の四・五一人に比べ減

少を示しています。増加してい

る市町村は、秋田市(十・八%)

タウン化に伴ない、宅地開発が

進んだためと考えられます。

塩口北野、羽立北野は、町営住

宅、町分譲地として新たに集落

化し、二田、出戸新町、天王、蒲沼、追分は団地の造成、宅地

の開発がされました。

この結果、人口の増、世帯の

増により、天王町の一世帯当たり

平均世帯人員は四・一三人で、

昭和四十年の四・七七八人、昭和

四十五年の四・五一人に比べ減

少を示しています。増加してい

る市町村は、秋田市(十・八%)

タウン化に伴ない、宅地開発が

進んだためと考えられます。

塩口北野、羽立北野は、町営住

宅、町分譲地として新たに集落

化し、二田、出戸新町、天王、蒲沼、追分は団地の造成、宅地

の開発がされました。

この結果、人口の増、世帯の

増により、天王町の一世帯当たり

平均世帯人員は四・一三人で、

昭和四十年の四・七七八人、昭和

四十五年の四・五一人に比べ減

少を示しています。増加してい

る市町村は、秋田市(十・八%)

タウン化に伴ない、宅地開発が

進んだためと考えられます。

塩口北野、羽立北野は、町営住

宅、町分譲地として新たに集落

化し、二田、出戸新町、天王、蒲沼、追分は団地の造成、宅地

の開発がされました。

この結果、人口の増、世帯の

増により、天王町の一世帯当たり

平均世帯人員は四・一三人で、

昭和四十年の四・七七八人、昭和

四十五年の四・五一人に比べ減

少を示しています。増加してい

る市町村は、秋田市(十・八%)

タウン化に伴ない、宅地開発が

進んだためと考えられます。

塩口北野、羽立北野は、町営住

宅、町分譲地として新たに集落

化し、二田、出戸新町、天王、蒲沼、追分は団地の造成、宅地

の開発がされました。

この結果、人口の増、世帯の

増により、天王町の一世帯当たり

平均世帯人員は四・一三人で、

昭和四十年の四・七七八人、昭和

四十五年の四・五一人に比べ減

少を示しています。増加してい

る市町村は、秋田市(十・八%)

タウン化に伴ない、宅地開発が

進んだためと考えられます。

塩口北野、羽立北野は、町営住

宅、町分譲地として新たに集落

化し、二田、出戸新町、天王、蒲沼、追分は団地の造成、宅地

の開発がされました。

この結果、人口の増、世帯の

増により、天王町の一世帯当たり

平均世帯人員は四・一三人で、

昭和四十年の四・七七八人、昭和

四十五年の四・五一人に比べ減

少を示しています。増加してい

る市町村は、秋田市(十・八%)

タウン化に伴ない、宅地開発が

進んだためと考えられます。

塩口北野、羽立北野は、町営住

宅、町分譲地として新たに集落

化し、二田、出戸新町、天王、蒲沼、追分は団地の造成、宅地

の開発がされました。

この結果、人口の増、世帯の

増により、天王町の一世帯当たり

平均世帯人員は四・一三人で、

昭和四十年の四・七七八人、昭和

四十五年の四・五一人に比べ減

少を示しています。増加してい

る市町村は、秋田市(十・八%)

タウン化に伴ない、宅地開発が

進んだためと考えられます。

塩口北野、羽立北野は、町営住

宅、町分譲地として新たに集落

化し、二田、出戸新町、天王、蒲沼、追分は団地の造成、宅地

の開発がされました。

この結果、人口の増、世帯の

増により、天王町の一世帯当たり

平均世帯人員は四・一三人で、昭和四十年の四・七七八人、昭和四十五年の四・五一人に比べ減少を示しています。増加してい

る市町村は、秋田市(十・八%)

タウン化に伴ない、宅地開発が

進んだためと考えられます。

塩口北野、羽立北野は、町営住

宅、町分譲地として新たに集落

化し、二田、出戸新町、天王、蒲沼、追分は団地の造成、宅地

の開発がされました。

この結果、人口の増、世帯の

増により、天王町の一世帯当たり

平均世帯人員は四・一三人で、

昭和四十年の四・七七八人、昭和

四十五年の四・五一人に比べ減

少を示しています。増加してい

る市町村は、秋田市(十・八%)

タウン化に伴ない、宅地開発が

進んだためと考えられます。

塩口北野、羽立北野は、町営住

宅、町分譲地として新たに集落

化し、二田、出戸新町、天王、蒲沼、追分は団地の造成、宅地

の開発がされました。

この結果、人口の増、世帯の

増により、天王町の一世帯当たり

平均世帯人員は四・一三人で、

昭和四十年の四・七七八人、昭和

四十五年の四・五一人に比べ減

少を示しています。増加してい

る市町村は、秋田市(十・八%)

タウン化に伴ない、宅地開発が

進んだためと考えられます。

塩口北野、羽立北野は、町営住

宅、町分譲地として新たに集落

化し、二田、出戸新町、天王、蒲沼、追分は団地の造成、宅地

の開発がされました。

この結果、人口の増、世帯の

増により、天王町の一世帯当たり

平均世帯人員は四・一三人で、

昭和四十年の四・七七八人、昭和

四十五年の四・五一人に比べ減

少を示しています。増加してい

る市町村は、秋田市(十・八%)

タウン化に伴ない、宅地開発が

進んだためと考えられます。

塩口北野、羽立北野は、町営住

宅、町分譲地として新たに集落

化し、二田、出戸新町、天王、蒲沼、追分は団地の造成、宅地

の開発がされました。

この結果、人口の増、世帯の

増により、天王町の一世帯当たり

平均世帯人員は四・一三人で、

昭和四十年の四・七七八人、昭和

た。百七十四万七千円が黒字となつた。また、単年度では、四十八年度からの繰越金を差し引いた五百七十九万七千円が黒字となつた。

昭和四十九年度の国民健康保険事業特別会計は、歳入が二億八千四百九十七万六千円、歳出が二億四千七百六十八万九千円である。

この主な黒字の要因は、蒲沼地区の工場誘致用地の売払い収入一億二千五百四十七万五千円である。

国保特別会計

昭和四十九年度一般会計の当初予算額は、七億三千四百四十円であったが、その後追加六千円であつたが、その後追加され、最終予算額は歳入歳出それぞれ十億七千五百五十一万円となつた。決算額では、歳入が十一億三千五百五十九万二千円で、歳出が十億五十六億七十五万三千円となり、差し引き七千八百八十三万九千円の黒字となつたが、前年度繰上充用金二千五百二十万八千円が含まれているため単年度では、一億四百六万七千元の黒字となつた。

一般会計

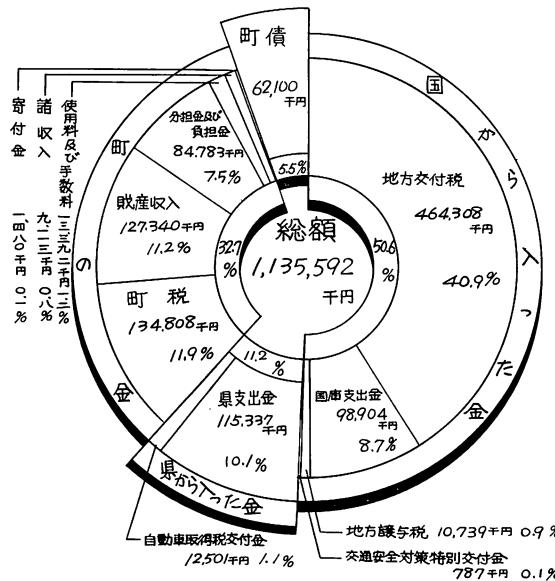
水道事業特別会計

宅造特別会計

＝ 49 年度決算から＝



<一般会計> 歳 入



簡易水道事業特別会計の昭和四十九年度収支は、歳入七百四万五千円に対し、歳出が六百三十八万円で、六百六十五万円の黒字となつたが、義務的経費の割には水道料金の伸びが少なく単年度では八十七万二千円の赤字となつた。

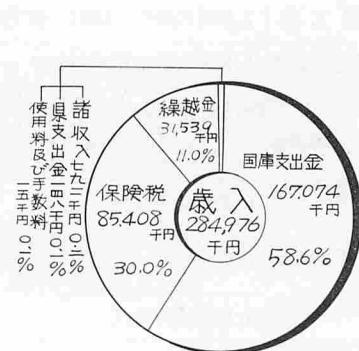
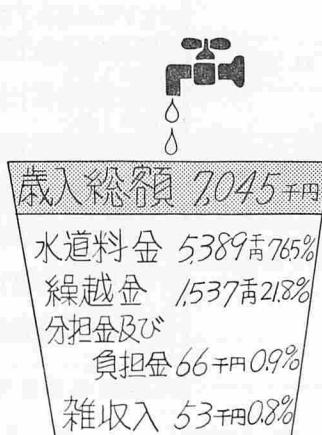
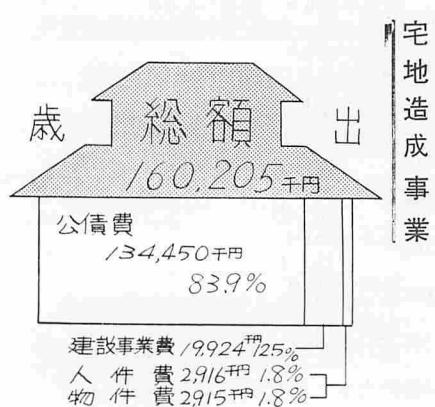
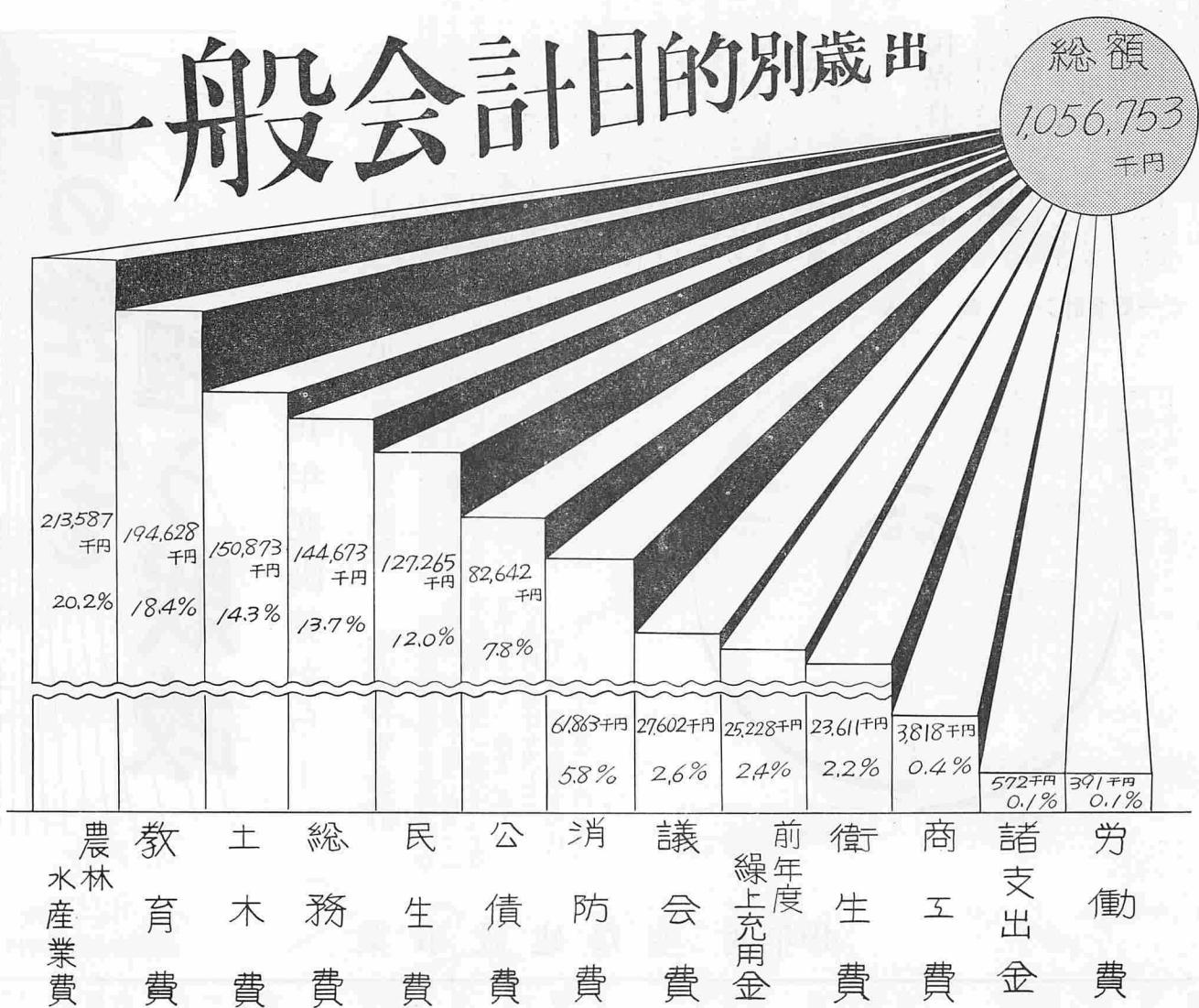
町営宅地造成事業特別会計の決算は、歳入が二億二百八十二万五千円、歳出一億六千二十二万五千円となり、四千二百六十一万九千円の黒字を出した。このうち、単年度黒字額は、二千二百三十六万二千円となつた。

49年度 主な建設事業

事業費の単位は千円

事業名	事業費	事業内容	効果等	事業名	事業費	事業内容	効果等
街灯新設工事	2,587	水銀灯 60灯(防犯灯)		羽立干拓線舗装工事	4,310	延長=300m 幅員=6.0m 羽立部落～南部干拓接続幹線舗装整備	
児玉児童館建設事業	5,886	木造平屋建亜鉛メッキ鋼板葺 82.35m ²		湖岸排水路改修工事(塩口1号)	2,100	延長=272m 道路排水及び生活排水の流末処理	
持谷地地区畑地総合整備事業	89,580	道路工 延長=4,819m 排水路工 延長=1,326m		湖岸排水路改修工事(塩口2号)	1,279	延長=257m 道路排水及び生活排水の流末処理工事	
出戸地区農道整備事業	5,058	延長=280m 幅員=5.0m 起点(上出戸地区農道)字北野～終点(むつみ団地)字北野		湖岸排水路改修工事(中羽立1号)	1,170	延長=255m 同上	
上出戸地区農道整備事業	6,292	踏切改良		湖岸排水路改修工事(羽立1号)	1,108	延長=219m 同上	
下分水農道整備事業	8,004	延長=378m 幅員=5.0m 起点(上江川持長根線)中学校裏～終点字二田(県道男鹿昭和線)		湖岸排水路改修工事(羽立2号)	2,360	延長=251m 同上	
蒲沼地区農道整備事業	7,858	踏切改良		天王駅前排水処理工事	1,850	延長=210m 天王駅前道路水処理県道側溝に接続	
新繩手地区農道整備事業	3,043	用地買収 2,032m ²		藤の家踏切側道新設工事	2,160	延長=136m 幅員=5.0m 藤の家踏切道廃止による側道新設工事	
持長根地区農道整備事業	3,640	用地買収 3,837m ²		消防施設整備事業	5,460	防火水そう新設工事 40m ² 級 6基	
三軒屋地区農道舗装事業	4,928	延長=288m 幅員=5.0m 起点字北野(秋銀グランド)～字北野		天王農道	5,221		
北野第2地区農道舗装事業	12,190	延長=662m 幅員=6.5m 字上北野(菅井農園)～字北野		天王小学校グランド整備工事	4,000	整地、土留工事 8,365m ²	
鶴沼地区農道舗装工事	8,575	延長=749m 幅員=6.5m 字鶴沼台～字鶴沼台(農業学園入口)		出戸小学校グランド整備工事	1,320	整地工事 3,100m ²	
江川海岸線舗装工事	7,350	延長=480m 幅員=6.0m ゴミ収集地に通ずる幹線道路の舗装整備		追分小学校通学道路工事	7,199	舗装工事 延長=190m 幅員=5.5m	
役場天中線舗装工事	7,100	延長=365m 幅員=4.0～5.0m 通学道路の舗装整備		追分小学校プール建設工事	14,669	25m 6コース 幼稚園プール付 水面積367m ²	
羽立片山線舗装工事	8,080	延長=548m 幅員=6.0m 渋谷、中羽立線、羽立片山、羽立上線接続幹線舗装整備		湖岸地区総合運動場建設工事	42,758	面積 21,000m ² 野球、陸上競技	
				公営住宅建設事業	85,124	2種住宅 24戸	

一般会計目的別歳出



国民健康保険事業

